

平成 26 年 5 月 5 日に日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の枠組みによる以下の 2 件の供与式がガフ地区およびザガタラ地区にて両行政局知事の立会いの下、実施されました。

1. 「ガフ地区ごみ処理システム改善計画」 (供与金額 1 1 6, 1 8 5 米ドル)

ごみの増加が社会問題になっているガフ地区ガフ市及び周辺 2 村（ガフバシュ村，ガフヒンゴ村）を対象に新しいごみ処理場を設立し，適切な処理によりごみを軽減すると共に，資源回収・販売により売却利益を得るシステムを構築し，地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るものです。

供与式に集まったガフ市民



高橋大使のアゼルバイジャン語による挨拶



新規に建設されたごみ処理場



シャキリエフ知事による案内の下で視察



2. 「ザガタラ地区ガンダフ村診療所建設計画」 (供与金額 1 2 1, 9 3 8 米ドル)

ザガタラ地区ガンダフ村に新規に診療所建物を建設し、適切な医療機材を整備することで、同村および周辺 2 村落の住民の遠隔地基礎医療における機能向上を図るものです。同建物は地震が多い地域性を考慮し免震構造になっています。

新しい診療所建物と供与式に
集まった地元住民たち



当館供与の歯科用機材で治療中



当館供与の超音波検査機
による妊婦検診



ガンダフ村診療所
内部の様子

